



平成 20 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 日特エンジニアリング株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 近藤 進茂  
(JASDAQ・コード6145)

問い合わせ先

役職・氏名 専務取締役管理本部長 森下 弘 祥  
電 話 0 4 8 - 8 3 7 - 2 0 1 1

### 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は平成20年4月25日開催の取締役会において、平成20年2月12日付当社「平成20年3月期第3四半期財務・業績の概況」において発表いたしました平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想及び1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 平成20年3月期の業績予想の修正

##### (1)平成20年3月期 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	14,500	1,800	1,800	950
今回修正 (B)	14,500	1,900	1,900	1,200
増減額 (B-A)	0	100	100	250
増減率	0.0%	5.6%	5.6%	26.3%

##### (2)平成20年3月期 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	13,300	1,600	1,650	930
今回修正 (B)	13,300	1,650	1,700	1,100
増減額 (B-A)	0	50	50	170
増減率	0.0%	3.1%	3.0%	18.3%

(3) 修正理由

(連結業績予想)

売上高につきましては、予想を変更しておりません。

営業利益につきましては、巻線機事業における原価低減策の効果が予想を上回ったことと、連結子会社と決算期が異なることによる決算調整額が予想を下回ったため、19億円（予想対比5.6%増）と予想を上回る見通しです。

経常利益につきましては、営業利益の通期見通しが予想を上回るため、19億円（予想対比5.6%増）と予想を上回る見通しです。

当期純利益につきましては、経常利益の通期見通しが予想を上回るためと、投資有価証券の評価損等が予想を下回ったため、12億円（予想対比26.3%増）と予想を上回る見通しです。

(個別業績予想)

売上高につきましては、予想を変更しておりません。

営業利益につきましては、巻線機事業における原価低減策の効果が予想を上回り、16億5千万円（予想対比3.1%増）と予想を上回る見通しです。

経常利益、当期純利益の予想修正につきましては、連結業績予想の理由と同様です。

(4) ご参考：前期の実績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期（連結）	13,627	1,102	1,166	790
通期（個別）	12,793	941	1,056	725

\* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しと異なることがあります。

2. 平成20年3月期の配当予想の修正

(1) 平成20年3月期の配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	中間期	期末	年間
前回予想（平成20年2月12日）	8円	8円	16円
今回修正	—	12円	20円
当期実績	8円	—	—
前期実績(参考)	8円	4円	12円

(2) 配当予想の修正の理由

当社における利益配分に関する方針は、積極的な株主への利益還元、財務体質の強化及び健全化に向けた内部留保の充実を両立させることを基本に、業績に裏づけされた成果の配分を行うもので

あり、将来に渡って収益の向上を通して株主に還元できる基盤を確立していくことにあります。

配当性向につきましては 30%程度を目標としておりますことから、今回の業績予想の修正を反映し、当期末の配当を当初予想の 1 株当たり 8 円から 1 株当たり 12 円に増額するものです。これにより、年間予想配当額は 16 円から 20 円となります。

尚、本件につきましては、平成 20 年 6 月下旬開催予定の第 36 期定時株主総会に付議する予定であります。

以 上